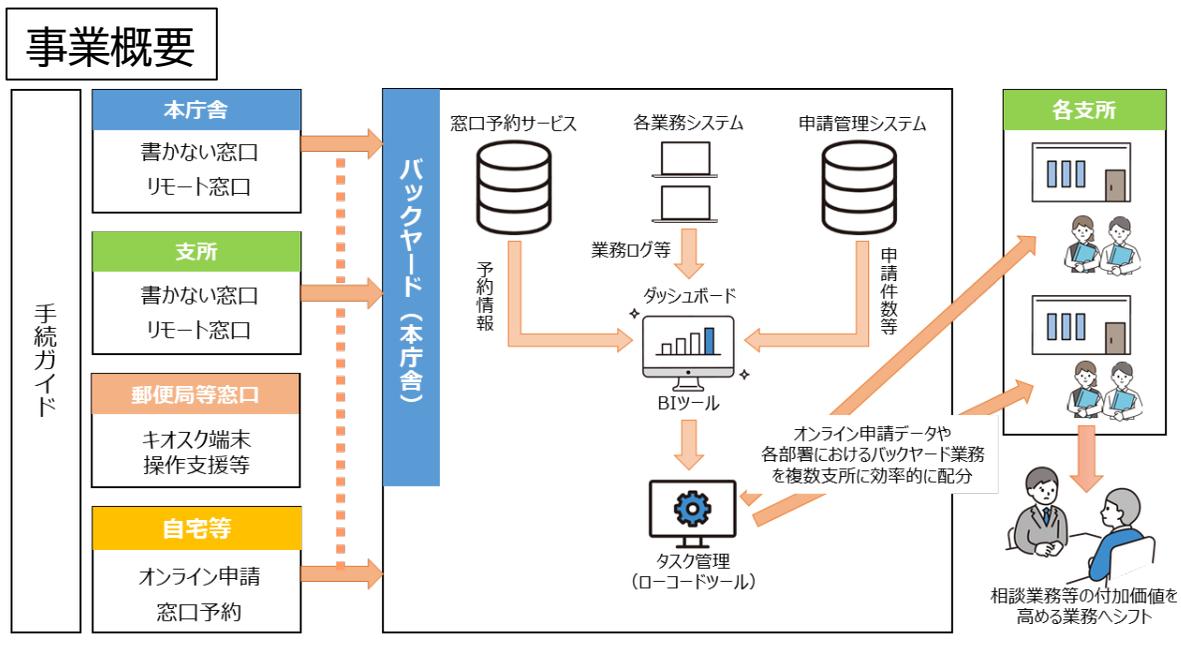


【先駆け（バックヤードの集約処理）】
東京都 八王子市
 （人口 56.1万人 人口密度 3108.5 /km²）
 中核市 → ベッドタウン → 支所多数

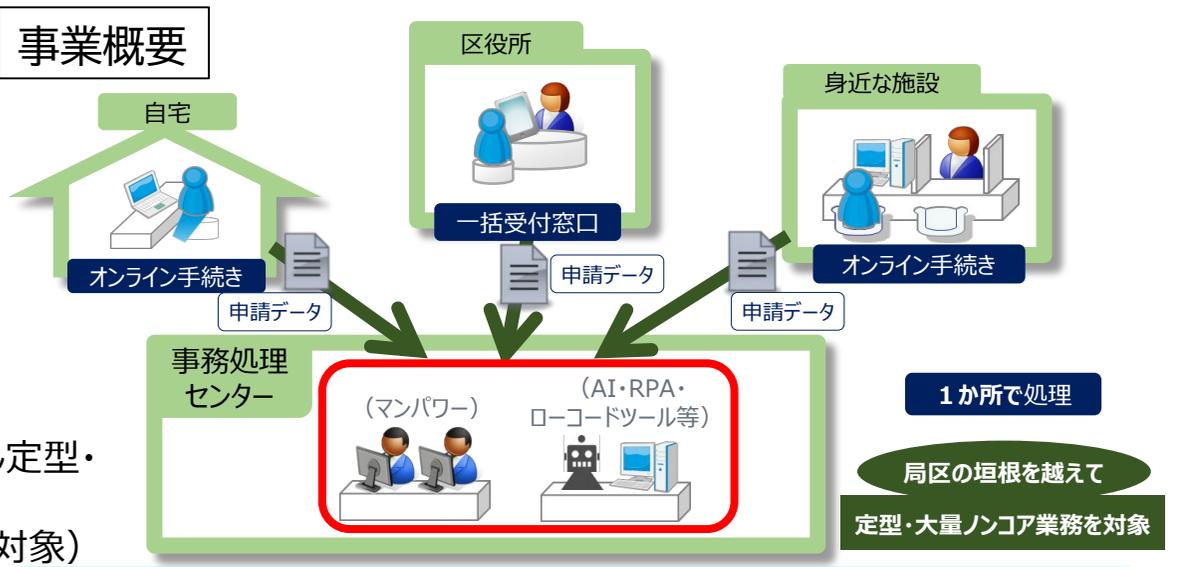
- フロントヤード業務とバックヤード業務をデジタル技術で効率的に分離
 - 一部支所をバックヤード業務センター化し定型業務処理
- 支所機能を維持しつつ、データ対応・タスク管理により各支所に審査業務等を調整配分し仮想的に業務を集約化



主なK P I（～R 8年度末）
 ① 業務時間 ▲120,000時間
 ② バックヤード集約業務数 30業務

【先駆け（バックヤードの集約処理）】
福岡県 北九州市
 （人口 92.3万人 人口密度 1909.8 /km²）
 指定都市 → 大都市 → 区役所等多数

- オンライン申請や区役所での申請に関するバックヤード事務処理を1か所で実施
- 「（仮称）バックヤード事務処理センター」を設置し定型・大量の事務処理を1か所で実施
 （まずは業務量の多い福祉業務／子育て分野を対象）



主なK P I（～R 8年度末）
 ① 窓口業務の作業時間 ▲18,000時間（保育所入所手続きに関するもの／R 6年度末）
 ※ R 8年度末に向けて順次対象業務を拡大